



札幌東高同窓会報

昭和60年8月
第13号

札幌東高等学校同窓会



ごあいさつ

北海道札幌東高等学校
同窓会会長

松尾 静江

毎日お暑い日が続いておりますが、同窓生の皆様には、ご機嫌よくおすごしの御事と、御慶び申しあげます。

顧みますと、私共の学舎は明治四十年に創立され、今年は七十八年の歴史と伝統に輝く、道内屈指の名門校と申して憚からないと存じます。

毎年夏の終りに開催されます同窓会の定期総会も、東高等学校卒業生の幹事の方々のお世話になつて、諸準備が進められるようになりますが、誠に各

タの期の方々が連携よくスムーズに、そしてたのしげに運んで下さっているのを喜こんでいるところであります。

学校祭の折も、恒例の「同窓会室」を訪れてみましたが、今年三月卒業の同窓会のフレッジュマンが、実に甲斐々々しくジュースのサービスを後輩達にして下さつてゐるのを、拝見して、同窓会の悠久を沁みじみ思い、力強く感じたことでした。

私が会長に就任させて頂いたのは昭和四十七年で、当時母校にも異色の女性校長が就任されました。中学校規格の木造校舎を何んとかして、鉄筋の新築校舎にと希い、先輩や関係者の方々も努力を続けられたのでありますが、全道的に千名を超える同窓生に全て御満足いただける会務の運営を心がけております。

いずれに致しましても、二万六千名を超える同窓生に全て御満足はおりますが、所詮人間のすることで、不行届の点が多々あると存じますが、どしどしあり下さいます。試行錯誤の繰返しの中から、よりよい方向づけをしてゆきたいものと念願する次第でございます。



よって設計費が付き五十六年には落成をみたのであります。母校の校舎の改築に、同窓会として精一杯協力することの出来たことを幸であつたとしみじみ思う昨今であります。

又我が同窓会は公立校同窓会の中でも執行部役員の年令が、極めて若い事も特筆できるのではない

かと考えます。歴史のある同窓会であれば、それなりの人脈の中で押えられる人が自ら決るものであ

ります。りましようが、前身が女学校なだけに、割と自由に、誰でも気軽に

「やる気」のある人がいて下されば、お願ひする空気が、伝統とし

てあるようで、それはある意味では民主的で、風通しのよい運営と言えるのではないかと、自負して

手のひらに温かさを



札幌東高等学校校長

久保田 宏明

この度は伝統ある本校に参り、久しう振りに高校生と共に学び、語ることができますことを心から嬉しく思っています。

6月に入ったのに肌寒かつた校内体育大会、でも生徒達は元気溌剌、樂しい時でした。

詩人高村光太郎は「若い人へ」の中

でこう言つてます。
「若いのはいい、若いのはいい
何かが知りたくて、知りたくて
また、遊びたくて、遊びたくて
疲れるということが

疲労ではなくて休息であるほどに
若いのはいい」と。

さて、パンコク日本人学校では可愛いい園児達、そして明るく元気な小・中学部の子供達約一二〇〇人に囲まれて大変楽しい3カ年でした。

私達はともすると、この若さのもつ本質を見落している事があります。若い生徒達と共に学ぶ時、この事を一度考へて見ることが必要でしょう。即ち生徒を導くこの「導」は音を表わす「道」と手の意味を表わす「寸」からなる形文字とか、一つの目的まで手を引張つて連れて行くことが「導」なのです。

そして、その引張り方にいろいろあります。教師の場合は夫々の個性や経験によつても違いがあり、家庭においてはその家々の主義・主張によつても違うと思います。

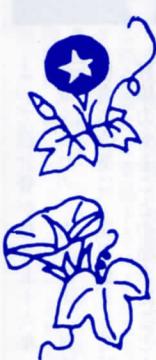
しかし、引張る手のひらに温かさが必要です。この手のひらに若さへの理解ある温かさがあれば、若し強く引張り過ぎたとしても、きっとついて来てくれるでしょう。

校内暴力や家庭内暴力の一つの原因について「大人達は自分達を少しも理解してくれない」ことを一様にあげています。それは彼等の甘えかも知れません。しかし、生徒達との信頼関係は

光太郎ではありませんが、若い人達にとつて疲れるという事は、さらに次の活動への休息にすぎません。本校の生徒達も今、若さの真ん中で活動しません。しかし、生徒達との信頼関係は

学校でも家庭でも欠く事のできない基盤だと思います。どの様な場合でも生徒を子供を一人の人格として認めてゆく姿勢というものが必要です。

この手のひらの温かさは生徒達を甘やかす事ではありません。毅然たる中に、



にじみ出る温かさこそ今、生徒達が望んでいるのだと思うのです。厳しく叱る時も、しつける時もこの温かさを忘れずに、そして生徒達が若さとともに伸び伸びと眞の学問への道を歩んで行つて欲しいものと、校庭一杯に響く生徒達の明るい歓声を聞きながら思つた一時でした。

確かに本校の生徒達の授業にのぞむ姿勢は大変立派です。しかし人間は

「頭」の教育だけではなく「体」さらに一番大切な「心」の教育が必要です。

そういう意味からも遠足での森林浴、「わらび座」や校内ミニコンサートでの音楽鑑賞そして高体連、高文連、高野連への積極的な参加活動、さらには韓国、タイ国からの視察団来校の際の交歓会などいろいろな場で生徒一人一人が何かを感じ取つて行つてくれるものと思います。

同窓会の皆様方にこれらのいろいろな場面においてご協力頂いております事を、心から感謝いたしております。何卒今後ともよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

札幌東高等学校前校長

仲川 翠

各界各層においてご活躍の北海道札幌東高等学校同窓生の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

科学技術の進歩発展にともなって、人間疎外・人間性喪失が叫ばれ、教育改革まで論議されている現在、札幌東高等学校の「克己自強」の校訓こそ、現代に生きる人間にとつて、大きな精神のよりどころとして、又「心の要」となっていることを確信いたします。

卒業生各位から母校に寄せられます温情の数々の中には、学校行事の中に力強く根付き、全道的にも類例を見ない学校祭での「同窓会コーナー」は、良き伝統の一つとして定着し、先輩と交わす一言一言が「力強い糸」となつて、札幌東高等学校発展に寄与するものと信じて疑いません。

思えば、札幌東高等学校長として、本年三月までの三年間、いろいろとお寄せくださいましたご厚情に感謝申し上げ、札幌東高等学校同窓会の益々のご発展と、同窓生各位のご健勝、ご多幸を祈念申いたしまして、ご挨拶といたします。

第36回 東高祭



恒例の東高祭が7月17日～21日の日程で $(1+2+3)^2 = 36$ のテーマで盛大に開催された。東高生はもちろんのこと卒業生や父兄、

一般の入場者もかなりおり食券や物品も21日の午前中に全て売切れとなつた。今年は、生徒の手造りによる味が大変美味しいと評判だつたようだ。

同窓会としても例年どおり展示

室を設け卒業アルバムや制服、会報等の展示を行いジュースの無料提供は千二百個が配布され好評だった。

$(1+2+3)^2 = 36$ 、これを変形して、 $(1+2+3) \times (1+2+3) = 36$ ——各学年の男子と女子の力を合わせると、第36回東高祭になるという奥の深い意味を持つています。

生活の中から想うこと

日々の新聞をひらいてみますと、世界のあの国、この国の記事が多いのに驚く昨今です。

今の日本の生活（衣・食・住）は全世界的といわれている昨今ですから、当然なかしらとも思わぬわけではないのですけど、さて日本には日本の伝統習俗があり、よしあしではなく、日常の生活がそう急に変化を要することばかりでもなく、はつきりとその必要に迫まられていることが多い現状であるとも考へてはおりません。

しかし若い方々は例えば「衣」についてもお産の用意にと昔の産着（うぶぎ）を用意する方は殆どなくて、店に売られている洋服型のを買ってつかわれるのが普通。「食」の方は近ごろは病院で産む方が殆どの様子なので気にならないけれど、赤ちゃんの住は抱っこかねんね？ともかく生れてから洋服生活ですから、そのまで、きもの味は成人式まで知らずじまいの方が多いのも無理はなし——。ただ私のような古びた人間は、

芦野トシ

か。英知を大切に考えましょう。

私は五月末に、榆の会（序立高女と北高同窓会の名称）の東京支部総会に招かれましたが、出発の

とき家の前から、帰札の羽田を発つまでのすべてにお心のこもったお譲り兼お接待を頂いたのでした。

自分の口の味を知らずに、ふれることもなくて生活する方々に多少憐れの情なきにしもあらず。結婚式服にきものを着せてもらうのに、お腰まで両手をひろげて……と着つけをする方があきれるというようなことに——。和装の学習を

される心がけが必要（お母さん気をつけてあげて下さるよう）女性としての最低の知識は国々で異なるでしょうがたしなみとしても今日の日本人としての心をもつと大切にしてほしいと願われます。

子供時代から人間美を養つてしまいものです。お話はとびますけれど、私たちが、ある物を作成したり、活用する場合には、欠陥の美があるのです。お話をとびますけれど、私たちが、ある物を作成したり、活用する場合には、欠陥の美

が継続となつて構成をみるもの。そこから人間の価値も相互の信頼も運命的なものとして生れ出るのでは？と一種の憧れをさえ抱くこの頃です。

専修学校 北海道実業和裁専門学校 学校長 日本きもの文化協会北海道支部長 北海道の衣服を研究する会代表

西64 札幌市中央区南九条西十六丁目
電話(011)561-020番

芦野トシ

東高の思い出

衣山了介

昭和二十八年四月、余市高より東高に転勤、その頃の東高は中島公園の側にあつたが、がっしりした重厚な感じの木造建築であつた。

着任早々三年四組の担任。この六月にこのクラスの会合があり、中には何十年振りの対面、皆それぞれ貴賎十分、あるいは、主婦の座をしつかり確保している様子でのもしかつた。二十八年十一月校舎現在地に移転、殺風景な校地の緑化のため、校地の周囲にボーラと銀杏の木を植えることになつたが、この仕事に書道の加納先生と一緒にあつた。十分根づくまで生徒諸君の協力で毎日水をやつた。

今通りすがりに見るそのボーラは一抱いもある大木になつてゐる。一入感無量である。最近テレビでジエンカを踊つているのを見た途端、すぐに頭に浮かんだのは、毎年学校祭の最終日、夜空を焦すファイアを囲んで、生徒と肩を組み額に汗しながらフォークダンスを踊つたことである。神先生をチーフに生徒会に関することが多かつたので、生徒会役員の皆さんと、塩谷でキヤンプを張つたり、ニセコ・イワオ・チセの山めぐりをした。山といえば、今井先生が顧問をしていた演劇部の有志と利尻富士に登り莊厳な日の出を眺めたときの感激は忘れない。四年四月西高に転出するまで、四、五、七、九、十二の各期を担任し、今は何かと卒業生の皆さんにお世話をなつてゐる。

今年古稀を迎えて、懐かしくそして樂しかった東高の思い出は余生の大きな懇めとなつています。

校長室の一枚の絵

秦 泰子

(高女24期)



母校の校長室に一枚の油絵が掛けられている。一人の女性が読書をしている何気ない絵であるが、この絵は昭和22年卒業の一生徒が記念して寄贈したもので、この絵の裏には

寄贈 卒業記念 中根愛子

と墨で書かれています。

中根愛子さんは昭和22年当時併設されていた専攻科一年卒業で市立高女24期生です。

現在は結婚されて姓も中谷さんと変更されていますが、御主人と四人の息子さんに恵まれて、ハワイ州のカウアイ島で元気に過ごされています。この絵は

中谷さんはハワイに行かれて33年目になるそうです。

「モデルは私ではありませんが、懐しい母校の一隅にその絵が健在で残っている事はとても嬉しい事です。学校在学中は丁度戦争で満足に勉強は出来ませんでしたが、畠仕事や工場で働いたお陰で、こちらに来ても、健康で、自強の精神で頑張って居ります」との事で、すでに父上はなくなりましたが、

中島公園の近くには中谷さんの生家が残っているので、いつかは札幌に帰つて見たいとおっしゃっています。

校長室の一枚の絵、機会がありまし



春琴抄とI先生

松井信子

(東高8期・NHK札幌放送劇団)



その頃中谷さんの父上が蒐集された愛蔵品の中から選んで寄贈されたもので絵を書いた木下孝則画伯は芸術院会員で、すでに数年前なくなられたそ

うですが、画伯の意欲に満ちた頃の大変価値ある作品でもあります。

中谷さんはハワイに行かれて33年目になるそうです。

「モデルは私ではありませんが、懐しい母校の一隅にその絵が健在で残っている事はとても嬉しい事です。学校在学中は丁度戦争で満足に勉強は出来ませんでしたが、畠仕事や工場で働いたお陰で、こちらに来ても、健康で、自強の精神で頑張って居ります」との事で、すでに父上はなくなりましたが、

中島公園の近くには中谷さんの生家が残っているので、いつかは札幌に帰つて見たいとおっしゃっています。

校長室の一枚の絵、機会がありまし

た一度閲覧されます様、おす、め致します。

つてしまつたのですが、それでもともかく『お疲れさん』とねぎらいの気持で誘つて下さつたのでしょうか。

主演の『春琴抄』——お琴を慕う佐助が我と我が目に縫針を突き立てたシーンに凄いショックを感じ、谷崎流耽美的世界はわからないまでも、男と女の業の深さに心打たれました。

その帰りです。先生が「ちょっと寄り道のI先生のお供をして、在学中に飲屋さんに行つたことがあります。もちろん、当時はオフレコでしたが。

三年生の秋——全道高校演劇コンクールが終つて間もない日のことでした。先生が私を映画に誘つて下さったのです。この年のコンクールの上演台本は私が書き、その上舞台にまで上りました。お蔭で見事に入賞を逸して東高の輝やかしい演劇史に泥を塗る結果とな

事もなげに言い放つて、出されたお酒をグイと呷る先生を觀察しながら、聞こ書きこうと思つていた映画の感想を先生から聞きだすきっかけは、とうとうつかめませんでした。……それからしばらくして私はNHK劇団のオーディションに応募しました。その時の朗読の課題が谷崎潤一郎『春琴抄』——映画の感動がまだ生々しかったせいか、意外に乗ることができて、どうにかパスしました。それにしても、と近頃は想い出すたびに可笑しくなるのです。

あの時の先生の飲みぶりは、映画の中の佐助はんとは違つて、どう見ても三枚目でおいやしたなあ、と。ごめんなさい。!

総会をふりかえつて

東高15期

西 谷 洋 利

(馬杉法律事務所)



第75回同窓会は、『原点回帰・Com e Back』『Seishun』をスローガンに、出来る限り純朴・質素に、その中で楽しい若かりし頃の思い出と共に過せるひと時を、参会者全員で堪能しようという基本姿勢で進めました。当番の義務感で同期の仲間を引張り出し、企画立案の会合を重ねる毎に大変さを痛感し、先輩達の苦労を思い知ると同時に、今後も毎年確実に開催されゆくにはとの方向性も検討しました。当番期各々の創意工夫による運営方法

ーaganに、出来る限り純朴・質素に、その中で楽しい若かりし頃の思い出と共に過せるひと時を、参会者全員で堪能しようという基本姿勢で進めました。

も評価されましようが、競いあつて無理が生じないように留意することも必要です。当番期への委嘱に始まり、運営費の捻出等の問題での現状は、今後も課題とされましよう。一期生の英断で15期生主体の幹事構成は少数精銳の5部門約30名の実行体制でやりぬきました。企画・交渉・広告集めに奔走してくれた仲間達の労苦に心から感謝するとともに、引き続き行われた同期会で、狭い会場に60余名が膝つき合わせて盛りあがつたあの興奮は未だに忘れられません。更に、多くの方々のお力添えを戴いて無事盛会裡に終えられた事にも深く感謝しております。費用は会費で貯う事を原則とし、必要最少限でやりくりしたこと、番号制により受付の混乱を防げたこと、同窓生の出演と最後に参加者全員で歌つて宴を盛りあげることが出来た点を当番期実行委員会として成果だった思つております。「また会う日まで」が永遠に続くことを願つて……。

當費の捻出等の問題での現状は、今後も課題とされましよう。一期生の英断で15期生主体の幹事構成は少数精銳の5部門約30名の実行体制でやりぬきました。企画・交渉・広告集めに奔走してくれた仲間達の労苦に心から感謝するとともに、引き続き行われた同期会で、狭い会場に60余名が膝つき合わせて盛りあがつたあの興奮は未だに忘れられません。更に、多くの方々のお力添えを戴いて無事盛会裡に終えられた事にも深く感謝しております。費用は会費で貯う事を原則とし、必要最少限でやりくりしたこと、番号制により受付の混乱を防げたこと、同窓生の出演と最後に参加者全員で歌つて宴を盛りあげることが出来た点を当番期実行委員会として成果だった思つております。「また会う日まで」が永遠に続くことを願つて……。

東京支部だより

第七回東京支部総会・パーティは、昨年、11月23日(金)に、新宿の東京大飯店で開催されました。

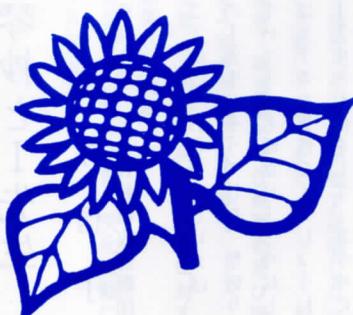
札幌から前田孝利先生、東京近辺にお住いの4名の恩師の先生方、本部の大黒正芳さん(東高8期)にもご出席いただき、そして、多数の参加者を得て、今回もきわめて盛会でした。

総会では、東京支部の役員、規約等の審議が行なわれ、満場一致で原案が承認されました。総会で決定した役員は、支部長が工藤恒美さん(東高2期)、

副支部長宮地栄子さん(高女10期)、鈴木一成さん(東高4期)、幹事長名生尚志さん(東高9期)などの方々です。

総会後引きつづき恩師の先生方をかみながら、パーティが行なわれました。互いに旧交を暖め合い、そして青春の日々に想いをはせるひとときでした。高女、東校の校歌、応援歌がバツクグラウンドミュージックとして流れている中で、札幌までの往復航空券をはじめとする賞品のくじ引きなども行なわれるなど、楽しく、なごやかにパーティが行なわれました。

懸案でありました東京支部の規約、役員も正式に決定いたしましたし、また、芝満夫さん(東高2期)、名生尚志さん(東高9期)などのご尽力で名簿も出来上りましたので、ますます東京支部における同窓会活動が発展していくものと思います。第七回東京支部総会は、皆んなで肩を組み、輪になつて合唱し、次回での再会を誓いながらその幕をとじました。



同窓会ゴルフ大会(60・6・27)

◎タカオ・ゴルフクラブ

滝野コース

同窓会恒例のゴルフコンペが初夏のさわやかな気候の下、老若男女沢山の参加で盛大に開催されました。

本年は、学校側から久保田校長外3名の参加があり、また、市立高女の方も数名参加されるなど、一段とぎやかな、楽しき一ぱいなわきあいのコンペとなり、各人優勝にむけて、盛り沢山の賞品獲得にとファイトあふれるプレーが随所に散見されました。

〈団体賞〉

○参加者三十六名の成績は次のとおりです

優勝 教員チーム(三〇一)
準優勝 東高一期チーム(三〇六)

一位 東高六期チーム(三〇七)

二位 東高九期チーム(三一二)

三位 東高八期チーム(三一〇)

〈個人賞〉
優勝 佐伯(東6)
準優勝 吉川(東2)

一位 長谷(東7)
二位 氏家(東1)

三位 久保田(校長)
四位 青田(東9)

五位 朝妻(東8)

| | 93 | 85 | 102 | 81 | 86 | 93 | 98 |
|----|----|-----|-----|----|----|----|----|
| 93 | 85 | 102 | 81 | 86 | 93 | 98 | 98 |
| 20 | 12 | 30 | 9 | 16 | 24 | 30 | 30 |
| 73 | 73 | 72 | 72 | 70 | 69 | 68 | 68 |



○特別賞
○ラッキー賞 藤田(東1)
○ブービー賞 遠山(東10)
○レディス賞 秋山(高女18)
○オールド賞 赤塚(元校長)
○平 和賞 黒沢(東1)

同 期 会 だ よ り

高女22期

後藤マツエ



高女二十二期は昭和十五年新築間もない校舎に、入試は内申書と口答試問に変更になった第一回目の入学生であり、卒業の時は第二次世界大戦の敗色が色濃く、全ての物資が不足で、母親の和服の仕立直しのモンベをスカート替りにし、十九年春の卒業式には「螢の光」は敵国の作曲であるので、歌わせてもらえず、涙一滴流さずに、ロマンチックなムードなど少しも許されないものでした。

四十年の歳月が過ぎて心はセーラ服時代再現の同期会を開催しました。時行の諸君に迎えられ、伊東に向う。会場はS君がマネージしている蒲酒なりゾートホテルの一棟貸切りで、本州勢19名、札幌勢6名が、ゆつたりとくつろげた。歓を尽くした宴の後も、二次会で深夜まで語り合った。

翌朝半数はゴルフに出かけ、小生は残りの諸君と共に、伊豆の海、伊豆の山の観光を楽しむ。午後、諸君と分れて、長岡・三島へと旅を続けた。本当に楽しく懐かしい思い出を作ってくれた皆さんに感謝している。

「東高八期 東京会出席

—伊豆の旅—
佐藤恭一



3月3日、暖かな伊豆半島を楽しみ

に、H君と千歳をたつ。新橋で車で同行の諸君に迎えられ、伊東に向う。会

場はS君がマネージしている蒲酒なり

ゾートホテルの一棟貸切りで、本州勢

19名、札幌勢6名が、ゆつたりとくつ

ろげた。歓を尽くした宴の後も、二次

会で深夜まで語り合った。

翌朝半数はゴルフに出かけ、小生は

残りの諸君と共に、伊豆の海、伊豆の山の観光を楽しむ。午後、諸君と分れ

て、長岡・三島へと旅を続けた。本当

に楽しく懐かしい思い出を作ってくれた皆さんに感謝している。

昭和59年度

東高同窓会会務報告

昭和59年度の主な会務を報告致します。

一、昭和59年度総会及び懇親会

59年度総会は八月二十四日五百名を超える会員・恩師の参加を得て、京王プラザホテルに於いて開催、58年度会務報告及び決算並びに監査の諸報告が承認され、次いで59年度事業計画案・予算案が上提出ましたが、いづれも原案通り可決されました。

二、常任幹事会及び幹事会

59年度の常任幹事会は一月二十二日と六月十一日に開催され、59年度総会に於いて議決された案件の処理や、幹事会総会に提出する議案等について協議しました。幹事会は七月二日に開催され、59年度の会務の施行状況と決算、60年度の事業計画案・予算案を審議・議決しました。

三、同窓会の入会式

第35回卒業生の同窓会入会式は三月九日、学校長・関係教員の列席を得て執り行われました。慣例通り新入会員歓迎の挨拶、新幹事への委嘱状の授与、同窓会役員の紹介、記念品の贈呈（本

年は十数年続いている紅白のおもちゃを印鑑に替えました）。最後に、新入会員代表の挨拶で閉会しました。

四、支部・同期会・同好会への助成

東京支部及び函館支部への助成のか同期会への助成（一回目三万円、二期目以降一万円）に努め、また同好会活動に対しても、本年はゴルフ同好会に助成を行い会員相互の親睦を図りました。

五、母校関係諸事業

学校祭開催にあたり、母校の理解あらご協力で慣例通り一教室を拝借して同窓会のPRを致しました。盛夏でしたので、サービスのジュースが大変喜ばれました。学友会誌「東」への助成や寄稿、ピッチングマシンでボールの痛みが激しいとの野球部の実情にあわせてボールの寄贈等、母校の発展にかかる事業についての適正な業務の執行に努めています。

- 2、支部・同期会・同好会活動に対する効果的な助成
- 3、母校の学校祭や体育・文化活動に対する助成

実際に努め、年会費納入者への配布を通して、同窓会活動への会員の理解を得られるように努めました。

昭和60年度

事業計画

同窓会事務局から

◎ 同期会に助成金

より多くの呼びかけで、親睦の和をさらにひろげる同期会への助成金制度です。どしどしご利用ください。はじめての同期会開催には：三万円・次回以降の同期会開催には：一万元

△申込みはハガキで事務局へ。期名・代表者名（フリガナつき）と電話番号・振込銀行と口座番号、開催日時と会場を記入の上お申込ください。銀行振込制です。

◎ 住所などの変更はハガキでお知らせた会員は、事務局へハガキでお知らせください。

◎ 年会費について
年会費（五百円）は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。会員各位の特段のご協力をお願いいたします。

◎ 送金振込先 拓銀／苗穂支店
普通預金No.275020
札幌東高校同窓会
☎ 831-6332

◎ 同好会に参加を
ゴルフ、麻雀、テニス、ほか同好の会員による懇親の集まりにふるつて参加しませんか。今年は麻雀とゴルフの同好会が開かれました。ほか企画やご希望をお寄せください。お問合せは、総務課当東3期山中☎ 561-5201迄。

◎ 会報の送付を希望される方や、同好会、その他ご意見などご遠慮なく、事務局までお寄せください。ほか企画やご希望をお寄せください。お問合せは、札幌東高校同窓会事務局
036-831-6332 皆田・柳原先生
札幌市白石区菊水9条3丁目（札幌東高校内）

■会計報告

昭和59年度決算書並びに昭和60年度予算案

昭和59年度決算書

| | | |
|----------------|--------|------------|
| (昭和59年7月1日から) | 前年度繰越額 | 1,220,027円 |
| (昭和60年6月30日まで) | 収入の部 | 1,552,595円 |
| | 支出の部 | 2,063,314円 |
| | 次年度繰越額 | 709,308円 |

(収入の部)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 摘 要 |
|-------------|-----------|-----------|-------------|
| 前 年 度 繰 越 金 | 1,220,027 | 1,220,027 | |
| 新 入 会 員 会 費 | 660,000 | 664,500 | 440名×1,500円 |
| 年 会 費 | 520,000 | 382,000 | 1,040名×500円 |
| 雑 収 入 | 299,973 | 506,095 | 預金利息他 |
| 計 | 2,700,000 | 2,772,622 | |

(支出の部)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 摘 要 |
|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 事 務 手 当 | 220,000 | 200,000 | 事務手当及び交通費 |
| 事 務 用 品 費 | 50,000 | 47,600 | 用紙その他 |
| 印 刷 費 | 40,000 | 36,000 | |
| 通 信 費 | 120,000 | 30,600 | 郵便料他 |
| 旅 費 交 通 費 | 100,000 | 0 | 支部出張費 |
| 慶弔 費 | 100,000 | 61,000 | 餞別他 |
| 会 議 費 | 320,000 | 304,614 | 幹事会等会場費 |
| 総 会 関 係 費 | 300,000 | 200,000 | 総会準備金 |
| 会 報 発 行 費 | 150,000 | 120,000 | 会報発行(2,000部) |
| 学校祭関係費 | 200,000 | 127,400 | 学校祭参加 |
| 同期会等助成費 | 300,000 | 230,000 | 支部及び同期会助成 |
| 新会員関係費 | 240,000 | 177,200 | 記念品贈呈 |
| 体育文化助成金 | 150,000 | 150,000 | 在校生助成 |
| 特別会計積立金 | 300,000 | 300,000 | |
| 雑 費 | 30,000 | 8,400 | |
| 予 備 費 | 80,000 | 70,500 | 校名旗他 |
| 計 | 2,700,000 | 2,063,314 | |

※残高(709,308円)は北海道相互銀行菊水支店 普通預金(No.250100)に全額預入

■特別会計積立金<信託預入>

(収入の部)

| | |
|-----------|------------|
| 前年度繰越額 | 3,224,502円 |
| 繰 入 金 | 300,000円 |
| 取 益 配 当 金 | 182,976円 |
| 合 計 | 3,707,478円 |

{貸付信託配当金 135,144円
金銭信託配当金 47,832円}

(支出の部)

0円

※残高内訳

| |
|-------------------|
| 安田信託銀行札幌支店 |
| 貸付信託(No.09101634) |
| 2,700,000円 |
| 金銭信託(No.35026790) |
| 1,007,478円 |

監査報告書

昭和59年度の会計運営につき、収支計算書、予算実績対比表、付属帳簿及び証憑書類につき監査を行なった。
監査の結果、会計処理の原則及び手続きは、一般に公平妥当と認められる会計の基準に準拠しているものと認められた。
よって、当監査役は上記決算書は昭和60年6月30日現在の財務状態を適正に表示しているものと認める。

昭和60年7月2日

監査役 秦 泰子

監査役 藤枝靖規

札幌東高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。
(白石区菊水9条3丁目 電話811-1919)
- 第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。
- 第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、
名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

第2章 役員及び組織

- 第4条 本会に名誉役員をおく。
1. 名誉会長 1名 現母校校長
1. 名誉顧問 若干名 旧母校校長全員
- 第5条 本会に次の役員をおく。
1. 顧問 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
1. 相談役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
1. 会長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
1. 副会長 5名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
1. 幹事長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
1. 副幹事長 7名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
1. 常任幹事 若干名 正会員より幹事会で選出した者
1. 幹事 卒業時の各クラスより男女1名ずつ2名を選出する。但し卒業後7年以降は幹事の互選により各期4名以上を選出する。
1. 監査役 2名 正会員より総会で選出する。但し前記役員とは兼任できない。
- 第6条 役員の任期は次のとおりとする。
1. 会長・副会長・幹事長・副幹事長 3年
1. 常任幹事及び監査役 3年 但し再選を妨げない。
1. 幹事 3年 但し再選を妨げない。
- 第7条 役員の任務は次のとおりとする。
1. 会長 会務を総括し本会を代表する。
1. 副会長 会長を補佐し会長事故あるときはその任務を代行する。
1. 幹事長 常任幹事の分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会を主宰する。
1. 副幹事長 幹事長を補佐し幹事長事故あるときはその任務を代行する。
1. 常任幹事 総務・広報・会計・母校担当の任務を分掌し会の企画運営に当たる。
1. 幹事 会員間の連絡にあたり常任幹事を補佐する。
1. 監査役 会計業務を監査し会計の正常な運営を計る。
- 第8条 本会は次の機関をおく。
1. 総会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開く。但し常任幹事が必要と認めたときは臨時総会を開くことができる。
1. 幹事会 総会に次ぐ議決機関で常任幹事会の諮問事項を協議し会の運営を協議、議決する。
1. 常任幹事会 本会の執行機関で会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議し会の運営にあたる。

第3章 事 業

- 第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。
1. 総会の開催
1. 会誌の発行
1. 母校発展のための事業
1. その他常任幹事会で必要と認めた事業

第4章 会 計

- 第10条 本会の会員は正会員の会費及び寄附金をもってこれにあてる。
1. 会費は入会と同時に1,000円、年会費として1ヵ年500円を納入する。
1. 寄附金の運用は常任幹事会で協議する。
- 第11条 会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。
- 第12条 会計年度終了時に定期監査を受け、その結果を総会で全員に公示する。又正会員の要求があり監査役が必要と認めたときは臨時監査を受けなければならない。

第5章 附 則

- 第13条 会員は住所姓名等一身上の異動があったとき、これをすみやかに本会事務局又は幹事まで連絡しなければならない。
- 第14条 会則の変更是総会において出席者の3分の2以上の承認を得なければならない。
- 第15条 本会則は昭和35年8月21日より施行する。
- 一部改正（顧問制定・幹事・常任幹事・及び監査役の任期）昭和49年8月23日より施行する。
一部改正（年会費）昭和50年8月25日より施行する。
一部改正（副会長・副幹事長の定数）副会長5名・副幹事長7名 昭和51年8月25日より施行する。
一部改正（入会費の金額）1,000円 昭和52年7月17日より施行する。
一部改正（常任幹事の任務・会計年度）総務・公報・会計・母校担当、7月1日より翌年6月30日まで 昭和56年8月22日より施行。

札幌東高校同窓会 役員名簿

| 役 職 | 氏 名 | 卒業期 | 住 所 | 電 話 | 勤 務 先 | 電 話 |
|-------|-------|-------|-----|-----|-------|-----|
| 顧 問 | 芦野 トシ | 職業 9 | | | | |
| 相 談 役 | 石田 アイ | 高女 2 | | | | |
| " | 五十嵐恒夫 | 東高 1 | | | | |
| 会 長 | 松尾 静江 | 高女22 | | | | |
| 副 会 長 | 小野寺チズ | 高女16 | | | | |
| " | 伊坂 郁子 | 高女23 | | | | |
| " | 吉中新太郎 | 東高 1 | | | | |
| " | 山中 一夫 | 東高 3 | | | | |
| " | 吉原 宏 | 東高 6 | | | | |
| 幹 事 長 | 岩城 弘侑 | 東高11 | | | | |
| 副幹事長 | 中村瞳三四 | 高女21 | | | | |
| " | 柴田 陽子 | 高女23 | | | | |
| " | 田中 麗子 | 東高 2 | | | | |
| " | 大黒 正芳 | 東高 8 | | | | |
| " | 高橋 正 | 東高10 | | | | |
| " | 小山 国夫 | 東高12 | | | | |
| " | 助貞 英一 | 東高13 | | | | |
| 監 査 役 | 秦 泰子 | 高女24 | | | | |
| " | 藤枝 靖規 | 東高14 | | | | |
| 常任幹事 | 長尾 貞子 | 高女 4 | | | | |
| " | 菅原 三枝 | 高女15 | | | | |
| " | 佐野 セツ | 高女18 | | | | |
| " | 坂東 信子 | 高女22 | | | | |
| " | 亀谷美津子 | 高女25 | | | | |
| " | 横田佐和子 | 高女26 | | | | |
| " | 小林 幸子 | 第一高校1 | | | | |
| " | 佐藤 一郎 | 東高 1 | | | | |
| " | 長谷川 修 | 東高 2 | | | | |
| " | 高木 美子 | 東高 3 | | | | |
| " | 高木 紗子 | 東高 4 | | | | |
| " | 久末 祐輔 | 東高 5 | | | | |
| " | 鈴木 敬夫 | 東高 7 | | | | |
| " | 遠藤 安倫 | 東高 8 | | | | |
| " | 陣内 幸則 | 東高 9 | | | | |
| " | 後藤 広治 | 東高11 | | | | |
| " | 佐々木信義 | 東高12 | | | | |
| " | 林 豊 | 東高14 | | | | |
| " | 西谷 洋利 | 東高15 | | | | |
| " | 倉知 拓野 | 東高16 | | | | |

同窓生にと
つて、現在の



して、母校の模様を紹介します。

東高の様子を
知る機会に仲
々恵まれませ
ん。そこで今
年の東高だよ
りから抜いて

“東高だより”から

怪物くん 原 良孝

ソウル五輪の“星”となれ

本年四月われらが母校東高に入学し
たばかりの原 良孝君は五月十二日に
行われた全道春季水泳大会において、
二百米個人メドレー、四百米個人メド
レーの二種目に出場し、短水路ながら
全道記録をあつさり更新した。

六月三十日の高体連札幌地区大会に
出場し、男子二百米個人メドレー、二
分二十三秒F。男子四百米個人メドレー、
一分一秒二の好タイムで悠々と優
勝し、大会新記録は勿論のこと短水路
北海道新記録、同北海道高校新記録を
樹立した。
つづいて七月二十日二十一日の全道
大会において、男子二百米個人メド
レー、二分十九秒二九、男子四百米個
人メドレー、一分一秒三八の記録で優
勝し、従来の記録をすべて塗り変える
新記録をうちたてた。

われらが母校に学ぶ後輩の活躍に惜
しみない拍手をおくり、同窓生一同で
今後の活躍を祈りたい。後輩よ、ソウ
ル五輪の星となれ!!

新ピアノ披露

記念ミニコンサート開催

久保田新校長の熱烈意向と道教委の
ご理解で新しいピアノがはいり、ちよ
うど演奏会で札幌へ来ておられたピア
ニスト高橋裕希子さん（東高音楽担当
高橋先生令嬢）にお願いしてのピアノ
びらきとなり、生徒PTAなど併せて
千数百人の参加の下、盛大に行なわれ
た。

韓国及びタイ国からの学校訪問

昭和六十年度国際交流基金中学高校
教員招聘計画にもとづく韓国チーム教育
視察団が五月二十一日（火）に本校
を訪れた。韓国教育関係者二十名は本
校の施設設備、特別教室など校内見学
のあと授業参観し、本校の教育内容に
ついて質疑応答、意見交換を行った。
又生徒との交流も行き熱心にメモをと
りながら東高の施設設備や教育水準に
驚嘆と賛辞を述べ帰路についた。又ひ
きつづいて五月二十八日（火）には国
際協力事業団が実施するアセアン青年
招聘事業にもとづくタイ国青年グルー
ブ三十名が本校を訪れた。

全道大会から

●軟式テニス

団体戦では準々決勝まで進出、小樽
桜陽高校と対戦した。実力互角、文字
通り一球一球、手に汗握る試合であつ
たが、一対二で惜敗した。また個人戦
では、野村・曲渕組が四回戦まで進出、

早川・工藤組が三回戦まで進出、高校
生らしい健闘ぶりは特筆できる。

●バスケットボール

1回戦 札東 82 — 55 小樽潮陵
前半シュートが決まり苦戦したが、
速攻とりバウンドで得点。
2回戦 札東 58 — 65 帯広工業

前半シュートが決まり苦戦したが、
速攻とりバウンドで得点。
技では遜色なく、終了2分前1点差
まで追い上げたものの、相手の体力（出
足の良さ）に反撃を封じられ惜敗、ベ
スト8進出はならなかつた。

●陸上競技（個人）

山本あおい

二〇〇mと四〇〇mRは入賞こそ出

来なかつたものの自己記録の更新、そ
して本命の一〇〇mでも記録更新の上、
入賞を果たし、全国大会への出場権を
得ることができました。

●テニス（個人）

工藤 まり

ペアの初山さんの頑張りもあつてダ
ブルスは3位になれ、シングルスでも
ベスト8に入ることができました。

●野球

甲子園をかけて熱戦がくりひろげら
れたが、我東高は惜しくも準決勝で敗
れ全道大会出場はできなかつた。

“進路のしおり”から

◆国公立大学進学者数
今年度卒業生の進学状況

| | | |
|--------|---|----------|
| 北海道 大学 | 男 | 19 25 46 |
| 室蘭工業大学 | 女 | - 19 10 |

あとがき――*

今年度の会報をお届けします。
この会報をご希望の方は、東北岩城
幹事長（0240-7979）へお申込
ください。

| 北海道教育大学 | 男女 | 計 | 北大医療技術短大 | 札幌学院大学 | 東日本学園大学 | その他道内 | その他道外 | 合計 | 北海学園大学 | 札幌大学 | 北海道工業大学 | 北海道薬科大学 | 藤女子大学 | 北星学園大学 | 札幌学院大学 | 日本学園大学 | その他 | 北海道立大学 | その他公立大学 | 私立大学進学者数 |
|---------|-------|----------|----------|-------------|---------|----------|-------|----|--------|----------|----------|---------|----------|----------|--------|----------|----------|--------|----------|----------|
| 21 13 2 | 男 | 194 85 2 | 3 2 2 | — 5 11 9 75 | 男 | 145 15 5 | 3 3 | 29 | 40 1 | — 3 7 | 185 16 5 | 3 3 | 6 6 | 185 16 5 | 3 3 | 6 6 | 185 16 5 | 3 3 | 6 6 | 185 16 5 |
| 193 19 | — 6 4 | 51 8 | — 2 3 | 7 13 6 | — 2 10 | 女 | 40 | 1 | — 3 7 | 185 16 5 | 3 3 | 6 6 | 185 16 5 | 3 3 | 6 6 | 185 16 5 | 3 3 | 6 6 | 185 16 5 | |
| 214 32 | 2 6 4 | 245 93 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 36 |
| 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | * |